

1年	教材	じどう車くらべ／じどう車のずかんをつくろう	【ゴールの姿】 調べたことをまとめた短冊をもとに「しごと」と「つくり」の順で「じどう車しょうかいカード」を書くことができる。
----	----	-----------------------	---

「書くこと」の学習過程と指導事項

○話題の設定、情報の収集、内容の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
・事前に図鑑を教室においておき、自動車への興味、関心を高め、書く意欲につなげさせる。		

○構成の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
・書くための構成を「じどう車くらべ」で学習し、「じどう車ずかんをつくろう」で、その構成を意識させた。		

○考えの形成、記述

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 引用したり、図表やグラフなどを

		用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
・「問い」を赤、「しごと」を青、「つくり」を緑に色分けをし、まとまりに気付かせる。 ・ワークシートの記入を通して語と語や文と文の続き方に注意させる。 ・前時までの学習内容をまとめたものを掲示し、ふりかえらせる。		

○推敲

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
・自分で書いた文章を声に出して読む活動を通して、間違いに気付かせる。また、ペアでも同様の活動をさせる。 ・書くときのポイントをまとめたものを掲示しておき、文を書くときはいつも意識させる。		

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	書こうとしていたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
・友だちが書いた自動車の「しごと」と「つくり」を楽しく読ませる。		

1年	教材	じどう車くらべ／じどう車のずかんをつくろう	【ゴールの姿】 調べたことをまとめた短冊をもとに「しごと」と「つくり」の順で「じどう車しょうかいカード」を書くことができる。
----	----	-----------------------	---

「読むこと(説明的な文章)」の学習過程と指導事項

○構造と内容の把握

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
<ul style="list-style-type: none"> 挿絵と文を対応させる学習を行う。 挿絵の並び替えをする。 出てくる自動車の順について考えさせる。 		

○精査・解釈

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し読ませて、文章の型を覚えさせる。 色分けをさせる。 図鑑を読む際に「しごと」と「つくり」を意識させる。 		

○考えの形成

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
<ul style="list-style-type: none"> 友だちの作った図鑑を読んだうえで、今まで見たことある自動車や、これから見たい自動車の視点で感想を持たせる。 		

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
<ul style="list-style-type: none"> 自動車について知ったことを発表させる。 		

2年	教材	馬のおもちゃの作り方／おもちゃの作り方をせつめいしよう	【ゴールの姿】 事柄の順序に沿って、構成を考え、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことができる。
----	----	-----------------------------	--

「書くこと」の学習過程と指導事項

○話題の設定、情報の収集、内容の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
・生活科で作ったおもちゃを、隣のクラスに紹介することを目的に、分かりやすく書こうとする意欲を高める。		

○構成の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
・「何」を「どうするか」のメモを書いてから、順序を考えさせ順序を表す言葉を書き加えさせる。		

○考えの形成、記述

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
・全文通読の際に、まとまりで書かれているため分かりやすい構成になっていることに気づかせる。 ・見つけた工夫を使って書くように指導する。		

○推敲

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
・例文に言葉を付け加えて、分かりやすい文章にする活動を取り入れる。 ・書くときのポイントを意識させて読み直しさせる。		

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	書こうとしていたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
・読み合った後、よいところやもっとよくするために感想を伝え合う。		

2年	教材	馬のおもちゃの作り方／おもちゃの作り方をせつめいしよう	【ゴールの姿】 事柄の順序に沿って、構成を考え、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことができる。
----	----	-----------------------------	--

「読むこと(説明的な文章)」の学習過程と指導事項

○構造と内容の把握

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
・順序を表す言葉に注目させる。 ・絵や写真と関連づけながら読み進める。		

○精査・解釈

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
・せつめいの工夫を見つけ、自分が使ってみたい工夫を考えさせる。		

○考えの形成

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
・生活科や図画工作科でのおもちゃづくりの体験と結び付ける。		

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
・自分が使ってみたい工夫を発表させる。		

3年	教材	「すがたをかえる大豆」 「食べ物のひみつを教えます」	【ゴールの姿】 例の書かれ方に気をつけて読み、それを生かして食べ物のひみつを紹介する。
----	----	-------------------------------	--

「読むこと(説明的な文章)」の学習過程と指導事項

○構造と内容の把握

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の組み立てを構成図にまとめる。 「初め」「中」「終わり」に分ける。 「中」で挙げている具体的な例をまとめる。(色分け・表) 	

○精査・解釈

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
	<ul style="list-style-type: none"> 「中」で挙げられている例の順序について考える。 説明の仕方の工夫について考える。(説明の仕方(工夫・作り方・食品)・写真があること・例の順序・順序を表す言葉など) 	

○考えの形成

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
	<ul style="list-style-type: none"> 「終わり」の段落を中心に、大豆の多様性の面白さ、それに気づいて工夫して食してきた人々の知恵、それを紹介している筆者の気持ちを知り、自分の感想を書く。 	

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
	<ul style="list-style-type: none"> 感想を共有し、自分の感想と同じところや違うところを意識しながら聞かせる。 	

3年	教材	「すがたをかえる大豆」 「食べ物のひみつを教えます」	【ゴールの姿】 例の書かれ方に気をつけて読み、それを生かして食べ物のひみつを紹介する。
----	----	-------------------------------	--

「書くこと」の学習過程と指導事項

○話題の設定、情報の収集、内容の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで変身のもとになる食材を決め、「すがたをかえる〇〇」事典を作る。学年で交流した後は、図書室に置かせてもらう。 本の中から必要な情報を選びやすいように、コピーを各自に準備し線を引いたり(色分け)囲んだりする。 	

○構成の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
	<ul style="list-style-type: none"> 「初め」「中」「終わり」の段落構成を例文から考える。 「中」の部分に自分の調べた内容を整理して書くことを確認する。 	

○考えの形成、記述

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
	<ul style="list-style-type: none"> 工夫されて食べられている食品を調べて、マッピングにメモする。(色分け) 食品を3つ選んで、作り方の中から必要なものを本から探して表にメモする。 選んだ食材の紹介する順序を、理由をもって決める。 「書くときのポイント」を示す。 	

○推敲

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
	<ul style="list-style-type: none"> 「読み直すときのポイント」に従って自分で確認する。(声に出して読む) グループでチェックシートを使って確認する。 書き直した内容は赤で書く。 	

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	書こうとしていたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
	<ul style="list-style-type: none"> 紹介する文章を読み合い、感想や意見を伝え合う視点を示す。 	

4年	教材	伝統工芸のよさをつたえよう	【ゴールの姿】 伝統工芸のよさを伝えるためのリーフレットをつくろう。
----	----	---------------	---------------------------------------

「書くこと」の学習過程と指導事項

○話題の設定、情報の収集、内容の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
	伝統工芸の良さを伝えるためのリーフレットを書くというめあてを共有し、自分が紹介したい伝統工芸を選んだ伝統工芸のみりよくと、それを選んだ理由と事例を考えていく。	

○構成の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
	「初め」「中」「終わり」ごとに文章の構成をしていく。教師の例文を提示し、メモを元に、「中」の文章を考えていく。	

○考えの形成、記述

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
	書く際のポイント(①みりよくが2つ②みりよくに対する理由③みりよくに対する事例④誤字⑤接続語⑥語尾)を押さえながらメモを基に「中」の文章を考えていく。	

○推敲

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
	交流したことを基に、自分の文章を読み直し推敲する。(直す箇所は、消しゴムで消すのではなく、横に書く)	

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	書こうとしていたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
	お互いに書いた文章を交流し、説明し合う。感想や良い点を伝え合う。	

4年	教材	世界にはこる和紙 伝統工芸のよさをつたえよう	【ゴールの姿】 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう。
----	----	---------------------------	--

「読むこと(説明的な文章)」の学習過程と指導事項

○構造と内容の把握

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
	「初め」「中」「終わり」の構成を確認しながら構成図にまとめ、内容把握をしていく。	

○精査・解釈

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
	筆者の書きぶりに注目し、筆者の考えが書かれている段落を探す。要約する際に段落の一文目を確認し、挙げられている事例が何を説明するために述べられているのかを考える。また、接続語に気を付ける。	

○考えの形成

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
	和紙以外の伝統工芸について調べ、みりよくが書かれているところ	

	を探し、要約する。	
--	-----------	--

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
	筆者が本文で述べているみりよくだけでなく、他のみりよくについて考える場面を設定し、交流する。	

5年	教材	グラフや表を用いて書こう	【ゴールの姿】 図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるよう書き表し方を工夫して書くことができる。
----	----	--------------	--

「書くこと」の学習過程と指導事項

○話題の設定、情報の収集、内容の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
		・『わたしたちの社会はくらしやすい方向に向かっているか』について自分の考えを持つために、既習事項(国語科や社会科の学習、総合的な学習の時間の学習)を思い出させる。

○構成の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
		・例文の文章構成をキーワードでまとめて、意見文を書く時の参考にさせる。 ・資料の説明の仕方や資料からわかる事実とそこから考えられることの文末表現の違いなど、意見文を書く際の参考となる部分に線を引かせる。

○考えの形成、記述

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
		・資料の説明の仕方や資料からわかる事実とそこから考えられることの文末表現の違いなど、意見文を書く際の参考となる部分に線を引かせる。 ・同じような理由の児童でグループを作り、検索の仕方や資料・カードの内容などを交流し、主張を裏づけるものとなっているか確認させる。

○推敲

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
		・書く視点、交流する視点を毎回提示し、グループでより書き手の主張が伝わる意見文になるように自分事として考えさせる。

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	書こうとしていたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
		・友だちの意見に対して、納得・共感・疑問とその理由について交流させる。 ・工夫できているとことを具体的に伝えさせる。

5年	教材	固有種が教えてくれること	【ゴールの姿】 主張がより伝わるための図表やグラフの効果を理解し、要旨に対する自分の考えをまとめる。
----	----	--------------	---

「読むこと(説明的な文章)」の学習過程と指導事項

○構造と内容の把握

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
		・初め・中・終わりの流れを掴ませ、構成図を書くことにより要旨を考えやすくさせる。

○精査・解釈

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
		・「なぜその資料が必要であったのか。」「資料がなかったらどうか。」について考えさせ、資料の効果についてまとめ文章理解をさせる。

○考えの形成

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
		・構成図をふりかえらせながら考えさせる。 ・筆者の主張に対して共感・納得・疑問の立場にたち、考えを書かせる。

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
		・友だちの意見に対して、納得・共感・疑問とその理由について交流させる。

6年	教材	鳥獣戯画を読む 日本文化を発信しよう	【ゴールの姿】 「相手を意識した上で、表現の工夫をしながら書くことができる。」
----	----	-----------------------	--

「書くこと」の学習過程と指導事項

○話題の設定、情報の収集、内容の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
		・シンキングツールを用い、グループで調べたいことを共有させる。

○構成の検討

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
		・自分の主張を明確にさせる。 ・割り付けや下書きをグループで共有しながら考えさせる。

○考えの形成、記述

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

		<ul style="list-style-type: none"> ・文を作る際に型を提示し、書かせる。 ・「鳥獣戯画」で読むで学んだ表現の工夫を振り返らせながら書かせる。 ・事実と感想を区別させながら、まとめさせる。
--	--	---

○推敲

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えること。	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
		<ul style="list-style-type: none"> ・文章を推敲する際の観点を示し、文を見直させる。 ・グループで見せ合い、文章を確認させる。 ・引用する際に、3文から5文程度の短文で書いているか確認させる。

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	書こうとしていたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
		<ul style="list-style-type: none"> ・どの部分で共感・納得・疑問に感じたことを話し合わせる。 ・自分の考えと比較させながら考えさせる。

6年	教材	鳥獣戯画を読む 日本文化を	【ゴールの姿】 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書くことができる。
----	----	------------------	--

「読むこと(説明的な文章)」の学習過程と指導事項

○構造と内容の把握

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
		<ul style="list-style-type: none"> ・主張がどこに書かれているかを探し、構成図にまとめていく。 ・要旨を把握させるために、筆者が強調している所を見つけさせる。

○精査・解釈

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
		<ul style="list-style-type: none"> ・図表と結びつく文章を見つけ、赤線を引かせる。 ・筆者が鳥獣戯画に対しての評価している所に青線を引かせる。

○考えの形成

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張に対しての、自分の考えを書かせる。 ・筆者の主張を強調させるための表現の工夫を考えさせる。

○共有

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書いたパンフレットをグループで読み合い、交流させる。